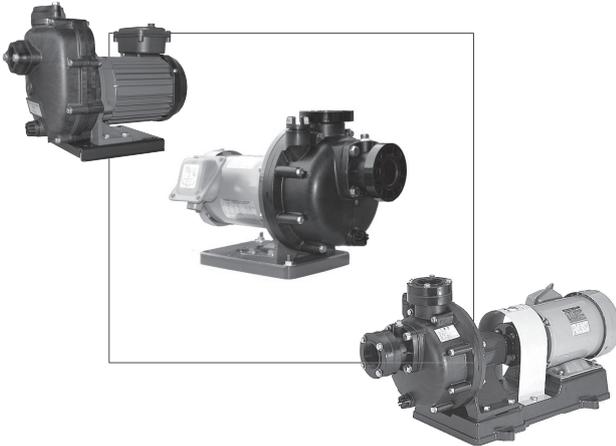


取扱説明書

テラダセルプラテクポン CMP形／COP形



- このたびはテラダセルプラテクポンCMP形/COP形をお買い上げいただきましてありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と電動機の取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになられたあとは、いつも手元においてご使用ください。

もくじ

安全上のご注意	1～2
各部の名前とその働き/付属品	3～4
お使いになる前に	4～8
運転のしかた	9
お手入れと点検	9～10
「故障かな?」と思ったら	10～11
仕様表	12
構造図及び部品名称	13～15
営業所一覧	16

安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い
いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に
防止するためのものです。また、注意事項は、危害や
損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った
取り扱いをすると生じることが想定される内容を、
「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に
関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷
を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、
物的損害の発生が想定される内容を示します。

●絵表示について

禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近く
に具体的な禁止内容が示されています。

行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中や近くに具体的な指示内容が示されています。

警告

●ぬれた手で電源プラグに触れないこと
感電の原因になります。

●修理技術者以外の方は分解したり、修理や
改造をしないこと
異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。

警告

●酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害
ガスや腐食成分を含んだガスが発生する場
所、またはほこりの多い場所には設置しな
いこと
火災やケガの原因になります。

●電動機の端子箱カバーは取りはずさないこと
感電の原因になります。

●カップリングガードは取りはずさないこと
(COP形のみ)
ケガの原因になります。

●運転中に電動機や回転部に触れないこと
やけどやケガの原因になります。

●アース接続を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアー
ス線に接続しないでください。(アースは電気工
事業者によるD種(第3種)接地工事が必要です。)
アース接続が不完全な場合は、感電の原因になります。

●専用の漏電しゃ断器と過負荷保護装置を
設置すること
漏電しゃ断器の点検は漏電しゃ断器の取扱説明
書に従って行ってください。
故障や漏電のときに、感電・火災の恐れがあります。

安全上のご注意

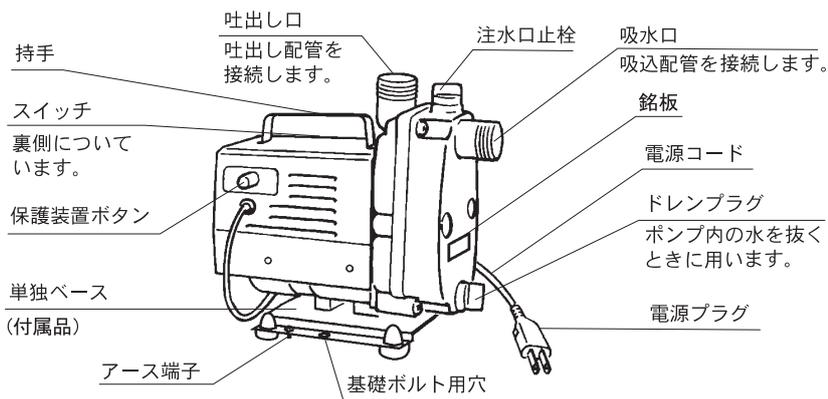
⚠ 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの刃の周囲にほこりが付着していないか定期的に確認し、接続は刃の根元まで確実に差し込むこと <p>ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●掃除や点検をする時は、電源プラグを抜くか電源を切ること <p>感電やケガの原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●動かなくなったり、異常がある場合は電源プラグを抜くか、電源を切り販売店に連絡すること <p>そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●関係者以外は近づけないよう、ポンプに囲いを設けること <p>むやみに触れると、感電やケガの原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●据え付けや電気設備・配線工事は専門業者に依頼すること <p>水漏れや感電・火災の原因になります。</p>

⚠ 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたりしないこと。また、重いものをのせたり、はさみ込んだりしないこと <p>火災や感電の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜く時は、電源ケーブルを持って抜かないこと <p>必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルをひっぱるとケーブルが傷つき感電・火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●40℃以上のお湯、泥水、ガソリン、灯油、油、化学薬品には使用禁止 (CMP1-50.1/60.1は50℃のお湯まで使用できます。) <p>ポンプの故障の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプは樹脂でできていますので、たいたり落したり、火気に近づけないこと <p>故障や火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプは樹脂でできていますので、鋼管を直接ねじ込んだり、シール剤や接着剤をつけないこと <p>破損の原因になります。</p>

⚠ 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外での使用禁止 (CMP1-50.1/60.1形のみ) <p>屋外で使用される場合は、屋根などを設けてください。屋根などを設置する場合には、電動機の冷却ができるように風通しを良くしてください。</p> <p>漏電や感電の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●物をかぶせたり、燃えやすい物を近づけないこと <p>電動機に毛布や布などをかぶせないでください。過熱して発火したり、故障の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●空運転（水なし運転）、締切運転（吐出し弁を閉じたままでの運転）禁止 <p>ポンプの故障や、やけどの原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源は専用コンセントを使用すること <p>電源ケーブルは途中で接続したり、延長ケーブルの使用やタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプが故障で運転を停止できない場合には、予備のポンプを設置すること <p>予備のポンプはいつでも使用できるように、時々運転してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●使用されないときは、電源プラグを抜くか電源を切り、ポンプの水を抜くこと <p>絶縁が劣化すると、漏電や火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプは仕様の範囲内で運転すること <p>仕様範囲をはずれた運転は、異常の発生や故障の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●凍結の恐れがあるときは保温するか、使用されないときはポンプ内の水を抜くこと <p>ポンプ内の水が凍結すると、破損の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●配管の重量がポンプにかからないよう配管を固定すること <p>配管の固定に不備があると、ポンプの故障の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●据え付け場所は、床面が防水処理・排水処理されていて点検がしやすい場所を選ぶこと <p>水漏れがおきたときに大きな被害になる恐れがあります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●停電のときは必ず電源プラグを抜くか、電源を切ること <p>通電時に不意に動き、ケガや感電をすることがあります。</p>

各部の名前とその働き

CMP1-50.1
CMP1-60.1



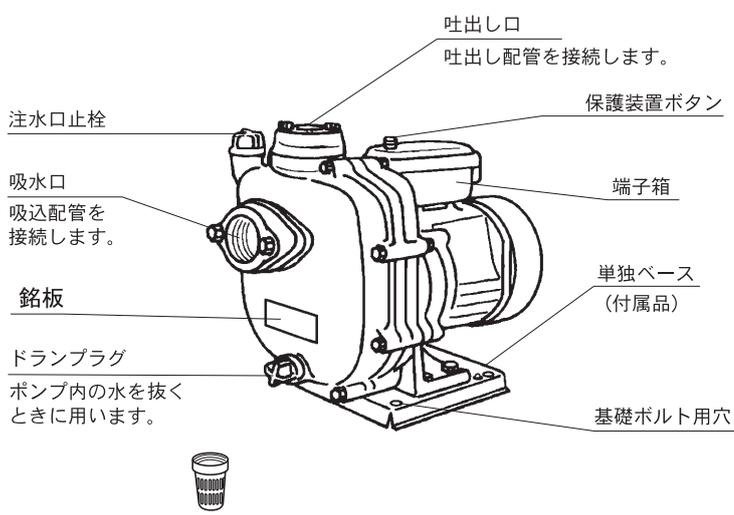
付 属 品



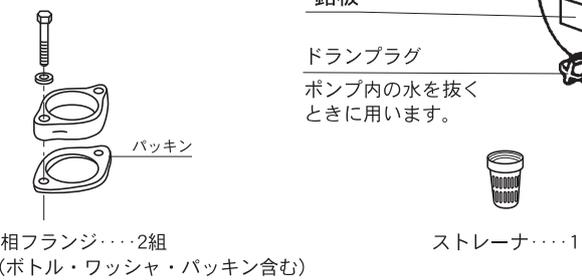
※CMP1-50.1/CMP1-60.1の付属品は15mmホース接続用です。
25mm接続用部品は別売となります。

CMP1-50.2R
CMP1-50.2TR
CMP2-50.2R
CMP2-50.2TR
CMP3N-50.4R
CMP3N-50.4TR

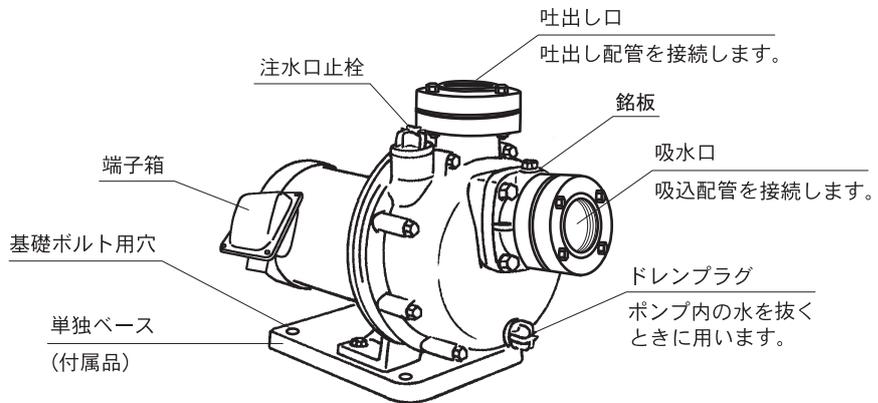
CMP2-60.2R
CMP2-60.2TR
CMP2-60.4R
CMP2-60.4TR
CMP3N-60.4R
CMP3N-60.4TR



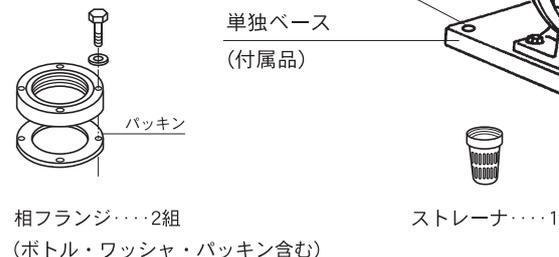
付 属 品



CMP3-50.7EN
CMP3-60.7EN
CMP4-50.7EN
CMP4-60.7EN
CMP4-51.5E
CMP4-61.5E
CMP4-62.2E



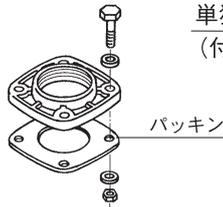
付 属 品



各部の名前とその働き

CMP6-51.5E
 CMP6-52.2E
 CMP6-62.2E
 CMP6-63.7E

付 属 品



相フランジ……2組
 (ボトル・ワッシャ・ナット・パッキン含む)

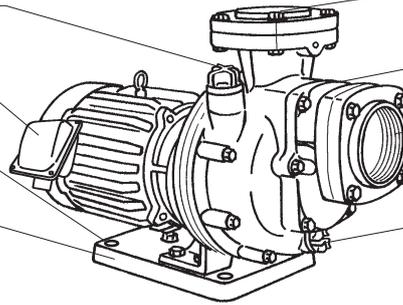
注水口止栓

端子箱

基礎ボルト用穴

単独ベース
 (付属品)

パッキン



ストレーナ……1

吐出口

吐出し配管を接続します。

銘板

吸水口

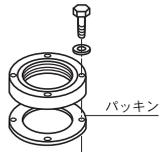
吸込配管を接続します。

ドレンプラグ

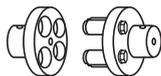
ポンプ内の水を抜く
 ときに用います。

COP4-51.5E
 COP4-61.5E
 COP4-62.2E

付 属 品



相フランジ……2組
 (ボトル・ワッシャ・パッキン含む)



カップリング……1組

電動機

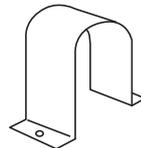
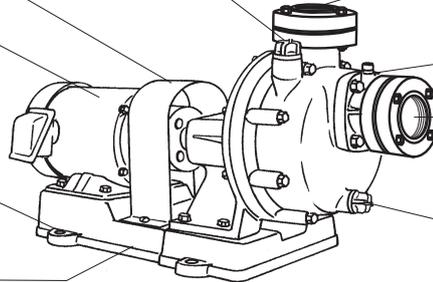
標準付属していません。
 オプションとしてご購入
 ください。

基礎ボルト用穴

共通ベース
 (付属品)

注水口止栓

カップリングガード



カップリングガード……1

吐出口

吐出し配管を接続します。

銘板

吸水口

吸込配管を接続します。

ドレンプラグ

ポンプ内の水を抜く
 ときに用います。



フットライナ……厚・薄各4



ストレーナ……1

お使いになる前に

⚠ 警告



- 生物（養殖魚・生け簀・水族館など）の設備、または重要設備にご使用の場合は、予備機を準備してください。ポンプの故障により、酸欠や水質悪化などが発生し、生物の生命に影響を与える恐れがあります。
- 循環用途に使用し、発錆や金属の腐食・溶融を許容できない場合は注意が必要です。ポンプや設備全体を含め選定・検討してください。循環水が濃縮され、思わぬ被害の恐れがあります。

標準仕様

確認

取 扱 液

液 質	清水・海水（※1）
液 温	0～40℃（※2） （凍結のないこと）

※1 CMP1-50.1、CMP1-60.1は海水では使用できません。
 ※2 CMP1-50.1、CMP1-60.1は液温50℃まで使用可能です。

1. ご注文通りのものかどうか銘板を見てご確認ください。特に50Hz用と60Hz用にご注意ください。
2. 破損箇所やねじのゆるみがないか、ご確認ください。

お使いになる前に

お願い

- このポンプは樹脂で構成されていますので、液質・濃度や液温によりご使用できないことがあります。ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- スラリー・土砂等の異物を含んだ水は、ポンプ寿命をいちじるしく縮めますのでご注意ください。
- 冬季など凍結によりポンプが故障することがありますので、ご注意ください。
- ポンプの直列運転はしないでください。
- 仕様は改良などのため、予告なく変更することがあります。

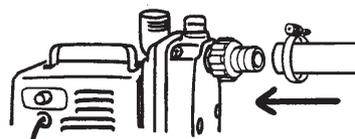
配管のしかた

⚠ 注意

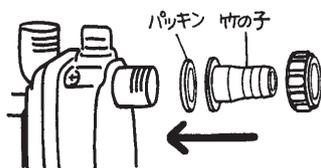
- 本体の樹脂部分には、シール剤や接着剤がつかないようにしてください。
- 吸水口や吐出し口に鋼管を直接ねじ込まないでください。割れる場合があります。

ホース配管の場合（CMP1-50.1、CMP1-60.1）

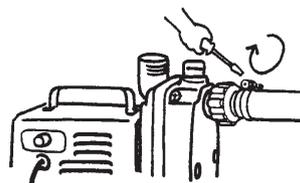
1. ホースバンドのねじをゆるめ、ホースに差し込んでください。（付属品は15mmホース用です）
3. ホースを竹の子の根元までしっかりと差し込んでください。差し込みが不十分ですと、空気を吸い込み揚水できません。



2. ホースカップリングに竹の子を入れてからパッキンを入れ、吸水口か吐出し口にねじ込みます。

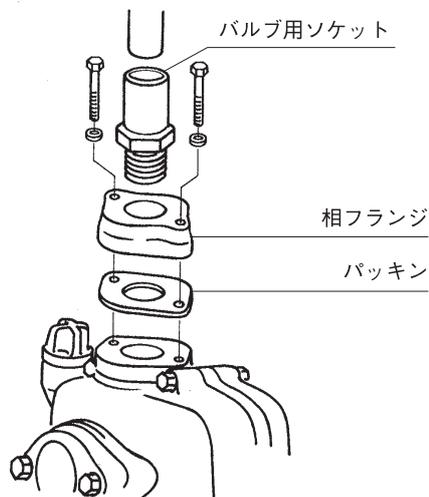


4. ホースバンドでホースを締め付けてください。（吐出し用ホースは内径15mmのものをご用意ください）（内径25mmのホースをご使用の場合は、別売の25mm接続用部品をお買い求めください）



硬質塩化ビニール配管の場合

1. バルブ用ソケットのねじ部にシールテープを巻き、相フランジや吐出し口・吸水口にねじ込みます。（相フランジははずしてから、バルブ用ソケットをねじ込んでください。）
2. パイプとバルブ用ソケットに塩化ビニール用接着剤を塗り、パイプをバルブ用ソケットにしっかりと差し込んでください。
※相フランジを取り付けるときは、必ずパッキンを入れてください。



お使いになる前に

配管 (CMP1-50.1、CMP1-60.1は除く)

お願い

●ポンプとの接続は必ずバルブ用ソケットをご使用ください。ねじ込む時はシールテープを巻いてください。ポンプに相フランジを取り付ける時は、強く締め付けすぎないでください。また、相フランジの取付面に傷がつかないように注意してください。

■吸込配管

1. できるだけ短く曲がりを少なくしてください。吸込管の水平部はポンプに向かって上り勾配にして、接続部は空気を吸わないようにしてください。
2. 吸込管の先端には必ずストレーナをつけてください。ごみなど多く集まる水源にご使用の場合は、ストレーナの周りに「ごみよけ」を設けてください。
3. 吸込管の先端は、管径の3倍以上水面下に沈め、底からは30cm以上離してください。
(ポンプ運転中、水位が低下しますので注意してください。)

●ポンプに吐出し配管・吸込配管の重量がかからない様に、必ず配管を支持してください。

■吐出し配管

1. できるだけ短く曲がりを少なくしてください。
(排気状態が悪いと自吸時間が長くなりますので末端は空気中に出すか、吐出し口の近くに空気抜き弁を設けてください。)
2. 吐出し管が長い時・吐出し高さが高い時・自動運転の時などは、必ず逆止弁(急閉式)と空気抜き弁を設けてください。

電動機セットについて (COP形のみ)

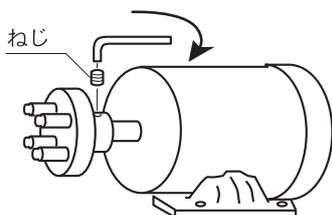
⚠ 警告

●カップリングガードは必ず取り付けること

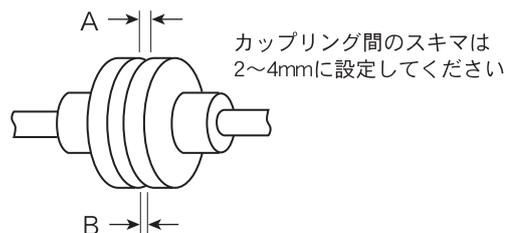
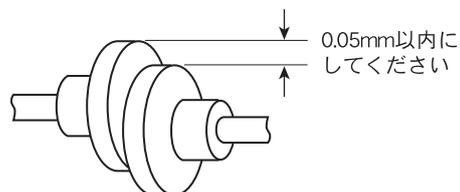
お願い

●電動機は仕様表(12ページ)を見て選定してください。
●電動機の取扱説明書は必ず読んでください。

1. 電動機シャフトに電動機側カップリングを取り付けてください。
ねじは確実に締め付けてください。
(電動機のキーも取り付けてください)

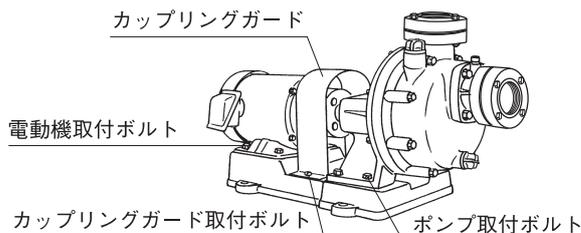


2. 電動機を共通ベースに取り付けます。
カップリングガードと共通ベースの電動機取付ボルトをはずし、ポンプのカップリングに電動機のカップリングをかみ合わせ、電動機を仮締めします。
3. 芯出しをします。
ポンプ取付ボルトを少しゆるめ、ポンプ側と電動機側のカップリングが図示の範囲になる様に調整してください。芯高さの調整はフットライナを使用してください。



A・Bを測定しAとBの差を0.1mm以内にしてください

4. カップリングガードを確実に取り付けます。



※据え付け配管が完了しましたら、再度芯出しの調整を行ってください。カップリングガードは必ず取り付けてください。

お使いになる前に

お願い

据え付けや電気配線工事は専門工事が必要ですから、お買い上げの販売店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。

据え付け位置



注意

● CMP1-50.1, CMP1-60.1は屋内用ですので、雨などのかかる屋外で使用しないでください。

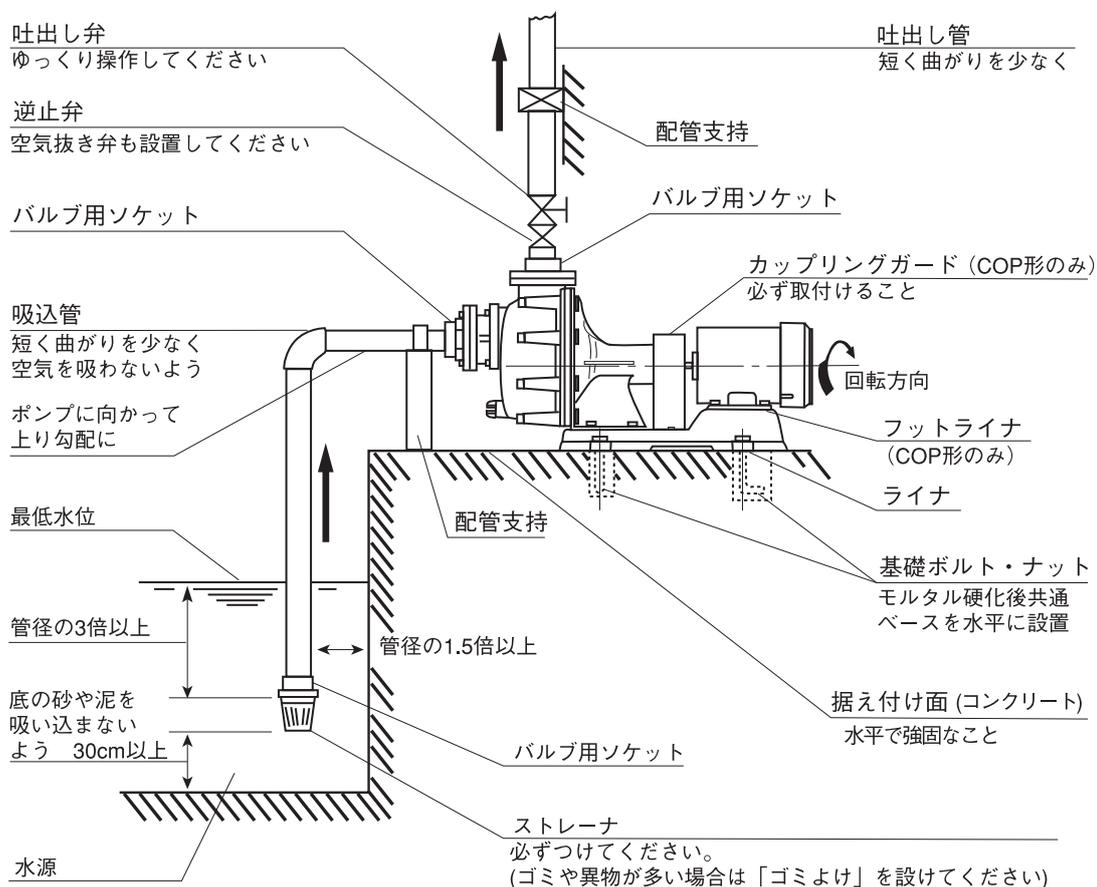
1. 周囲温度は40℃以下で、風通しが良い場所に設置してください。
2. 雨などのかかる屋外で使用される場合は屋根などを設置してください。（CMP1-50.1, CMP1-60.1のみ）
3. 据え付け位置はできるだけ水源に近く、低くしてください。吸水面から吸水口の中心までは、5m以内にしてください。CMP1-50.1, CMP1-60.1は3m以内にしてください。（吸込配管の横引部分が長くなると、自吸しないことがあります。）
4. 水平で安定し、排水処理の良い、保守点検に便利な場所に設置してください。

据え付け

1. 据え付けや配管時にポンプをぶついたり、落としたりしないでください。
2. 据え付け基礎面はできるだけ堅くし、水平にしてください。
3. 基礎ボルトを共通ベースや単独ベースにつけ（ナットはボルトの頭一杯につける）あらかじめあけておいた穴に、ボルトを垂下しモルタルを充填してください。
4. モルタルが硬化後、共通ベースや単独ベースの下にライナ等を入れ、水平を確かめながらナットを平均に締め付けてください。（CMP1-50.1, CMP1-60.1は除く）

据え付け・配管のポイント

●風通しが良く、雨などのかからない場所（CMP1-50.1, CMP1-60.1のみ）で水源に近く、低い位置を選んでください。



お使いになる前に

電気配線について

⚠ 警告



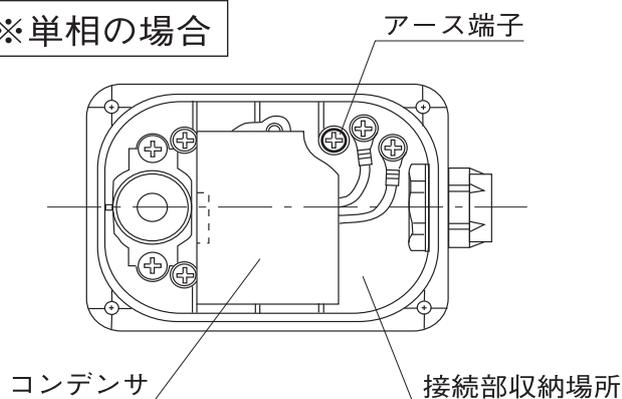
- 電気設備や配線工事は電気工事店に依頼すること
誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

1. ポンプの電気設備や配線工事などは、電気設備技術基準及び内線規程に従い正しく施工してください。無資格者による配線工事、接地（アース）等は、法律違反だけでなく非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
2. アース端子は端子箱内またはベースに、PE・または⚡マークで表示してありますので必ずアース接続を行ってください。
3. 回転方向を確認してください。電動機側よりみて右回転（時計方向）が正しい回転方向です。電源のスイッチを一、二回入り切りして、回転方向を確認してください。逆回転の場合は、電源線3本のうち2本を入れ替えてください。（三相のみ）又、異音などの異常がないか確認してください。ポンプ内には必ず水を入れて運転してください。

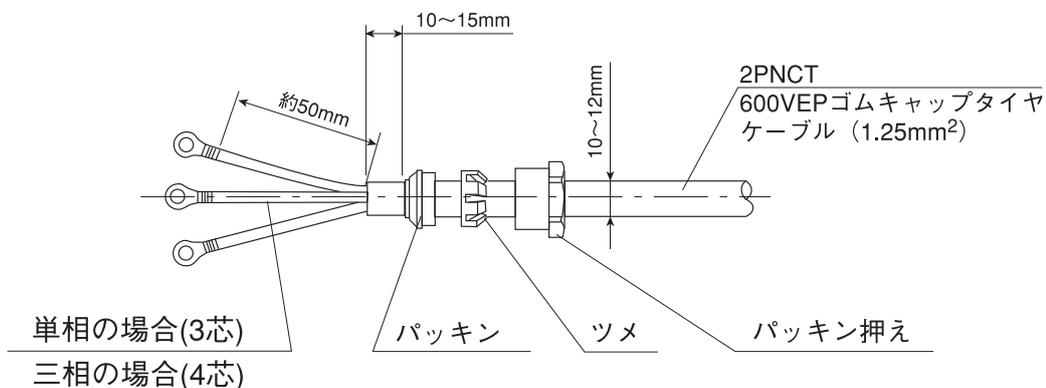
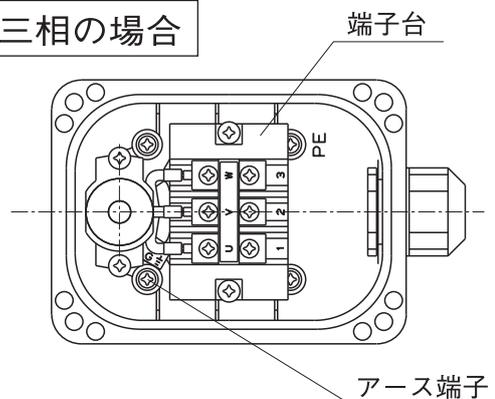
CMP-R形の配線について (0.2~0.4kW)

1. 電源電線は、単相の場合は3芯2PNCT、三相の場合は4芯2PNCT（600V EPゴムキャップタイヤケーブル 1.25mm²）をお使いください。端子箱引込口はケーブルコネクター式になっています。ケーブルの引張力、水の密封性を確保するため必ず指定のものをお使いください。
電線管配線をされる場合は厚鋼電線管（呼び16）用のボックスソケット（別売品）をご使用ください。
2. 単相の場合は電動機口出線は丸形端子（M4用）になっています。
接続後絶縁テープを巻いて十分に絶縁してください。接続部はコンデンサの上ののらないように横の空間に収納してください。

※単相の場合



※三相の場合



お願い

端子箱に水が入らないようにパッキンは忘れずに取り付けてください。

運転のしかた

⚠ 注意

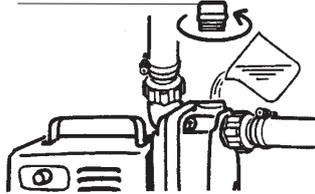


- 空運転（水なし運転）、締切運転（吐出し弁を閉じたままでの運転）禁止

ポンプの故障や、やけどの原因になります。

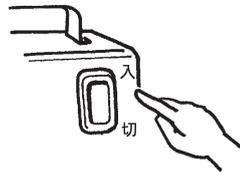
1. 注水口止栓をはずし、ケーシング内に水をいっぱい入れ注水口止栓をしめます。
(吐出し弁等は、空気が抜けやすいように少し開けます。)

注水口止栓



2. 電源スイッチを入れます。

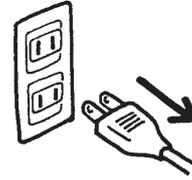
- CMP1-50.1, CMP1-60.1はスイッチの「切」状態を確認の上、電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチの「入」を押してください。



- ポンプが回り出してからしばらくすると揚水します。運転開始後7分程度経過しても揚水しない場合は、ケーシングの水が熱くなっていますので、電源を切り、ドレンプラグより水を抜いて新しい水を入れてください。この作業を繰り返しても揚水しないときは、ポンプに異常がないか、吸込配管から空気を吸っていないか、確認してください。

3. 吐出し弁がある場合は吐出し弁を徐々に閉じてから、電源を切ってください。

- CMP1-50.1, CMP1-60.1はスイッチの「切」を押せばポンプは停止します。使用されないときは、電源プラグをコンセントより抜いておいてください。絶縁が劣化すると、漏電や火災の原因になります。



お願い

- 長時間使用しないときはケーシング内を水洗いし、凍結防止のため水を抜いておいてください。
- 注水口止栓・ドレンプラグはポンプに付属の品物以外は使用しないでください。

CMP1-50.1、CMP1-60.1、CMP-Rの場合

1. このポンプには電動機の保護装置として手動復帰式サーマルプロテクタをつけています。運転中にポンプが停止したときは、しばらくしてから保護装置のボタンを押してください。再度ポンプが停止した場合は、電源プラグをコンセントより抜くか電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。
2. 保護装置のボタンは連続的に押ししたりテープで固定しないでください。

お手入れと点検

⚠ 警告



- 掃除や点検をする時は、電源プラグを抜くか電源を切ること

感電やケガの原因になります。

1. 掃除をするときは柔らかい布でふいてください。シンナー、クレンザー、酸類、熱湯などは使わないでください。キズがついたり、破損の原因になります。
2. ポンプや配管から水漏れがないか、ねじ部のゆるみはないか、騒音・振動の異常はないかご確認ください。異常がありましたら電源プラグをコンセントから抜くか、電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

3. 長期間安心してご使用頂くために、定期点検と日常点検両方の実施をお勧めします。点検を怠ると、ポンプの故障、事故などの原因になります。定期点検についてはご購入先にご相談ください。下記点検項目を随時点検し、必要に応じてお手入れ、および消耗部品の交換を行ってください。

・主な点検項目

項目	判定基準	期間
電圧	定格電圧の±10%以内	毎日
電流	銘板電流値以下	
異音・振動	異常音・異常振動のないこと	
各部の漏れ ねじ等のゆるみ	各部より漏れが発生していないこと 各部のねじがゆるんでいないこと	
電動機の絶縁抵抗	1MΩ以上	
		月1回程度

お手入れと点検

・消耗部品の交換

⚠ 警告



- 修理技術者以外の方は分解したり、修理や改造をしないこと
異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。

⚠ 注意



- 消耗部品は定期的に交換を行ってください。劣化、摩耗したまま使用した場合、水漏れや焼付き、破損など、故障の原因になります。
定期点検、部品交換などは、ご購入先に依頼してください。

・消耗部品

部品名	交換時期の目安	状態の目安
パッキン類	分解・点検毎	—
メカニカルシール	1年又は3000時間	目視できるほど漏れている
ベアリング	3年	異常音・異常振動が発生している
吸水弁	—	液が落水している 分解・点検時、著しく消耗、または劣化している

※日常の保守・点検において異常があれば早めの交換をお勧めします。

※上記交換時期はあくまでも目安であり、設置条件、使用方法、液質等により大きく変わります。

「故障かな?」と思ったら

⚠ 警告



- 修理技術者以外の方は分解したり、修理や改造をしないこと

異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。



- 動かなくなったり、異常がある場合は電源プラグを抜くか、電源を切り販売店に連絡すること

そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。

「故障かな?」と思ったら

お 願 い

「故障かな?」と思ったら、まず次のことをお調べください。それでも具合の悪い時は、電源プラグをコンセントより抜くか電源を切り、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

販売店へのご連絡の際には、ポンプ銘板に記載の形式・製造番号及びお買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

故障状態	故障原因	対策・処置
ポンプが 回らない	停電している	電気工事店または電力会社に連絡する
	電圧が低下している	
	電源プラグのはずれ	確実に接続する
	スイッチの故障	販売店に相談
	電動機の故障	
	羽根車にごみかみこみ	
	保護装置が動作している	
メカニカルシールが固着している	電動機のシャフトをドライバー等で回す	
自吸しない	ポンプ設置位置が高い	位置を低くする
	空気を吸っている	配管を点検する
	呼び水が少ない	ケーシングに補水する
	水路のつまり	ストレーナ・配管を点検する
	吸込みホースが変形している	硬質の管に変更する
	吐出し弁・空気抜き弁が閉じている	弁を開ける
	吐出し配管の先端が水中に入っている	吐出し配管の先端を水中より出す
逆回転している（三相のみ）	電源ケーブルの2本を入れかえる	
吐出し量が 少ない	羽根車の摩耗	販売店に相談
	空気を吸っている	吸込配管、水位を点検する
	ごみのつまり	販売店に相談
	逆回転している（三相のみ）	電源ケーブルの2本を入れかえる
振動、騒音が 大きい	吸上げ高さが高い	設置位置を低くする
	ごみのつまり	販売店に相談
	ポンプの据え付けが悪い	ポンプを堅く固定する
保護装置が 動作する	電圧が低下している	電気工事店または電力会社に連絡する
	ごみをかみこんでいる	販売店に相談
	電動機の故障	
	50Hz用を60Hzで使用	銘板を確認する
水が漏れる	メカニカルシール故障（異常）	メカニカルシールを交換する
	ボルトやナットがゆるんでいる	点検し、締め直す

仕様表

CMP1-50.1、CMP1-60.1

50Hz 同期速度3000min⁻¹ / 60Hz 同期速度3600min⁻¹

周波数 Hz	口径 mm	形 式	電動機 出力 W	吐出し量 ℓ/min	全揚程 m	吸上げ 高さ m	水温 ℃	電圧 V	相	消費 電力 W	質量 kg
50	25	CMP1-50.1	105	35	4.6	最高 3	最高 50	100	単	145	4.0
60		CMP1-60.1	120	35	5.5					180	4.0

CMP1-50.2R~CMP3N-60.4TR

50Hz 同期速度3000min⁻¹ / 60Hz 同期速度3600min⁻¹

周波数 Hz	口径 mm	形 式	電動機 出力kW	吐出し量 L/min	全揚程 m	吐出し量 L/min	全揚程 m	吐出し量 L/min	全揚程 m	電圧 V	相	質量 kg
50	25	CMP1-50.2R	0.25	15	14.0	25	13.5	40	12.5	100	単	11.0
		CMP1-50.2TR	0.25	15	14.0	25	13.5	40	12.5	200	三	10.0
	32	CMP2-50.2R	0.25	55	8.0	80	7.0	100	6.0	100	単	11.0
		CMP2-50.2TR	0.25	55	8.0	80	7.0	100	6.0	200	三	10.0
	40	CMP3N-50.4R	0.4	80	9.0	120	8.0	170	6.0	100	単	12.5
		CMP3N-50.4TR	0.4	80	9.0	120	8.0	170	6.0	200	三	11.0
60	32	CMP2-60.2R	0.3	55	9.0	80	7.5	100	6.0	100	単	11.0
		CMP2-60.2TR	0.3	55	9.0	80	7.5	100	6.0	200	三	10.0
		CMP2-60.4R	0.4	45	19.0	60	17.0	80	14.0	100	単	12.5
		CMP2-60.4TR	0.4	45	19.0	60	17.0	80	14.0	200	三	11.0
	40	CMP3N-60.4R	0.45	80	11.0	110	10.0	160	7.0	100	単	12.5
		CMP3N-60.4TR	0.4	80	11.0	110	10.0	160	7.0	200	三	11.0

CMP3-50.7EN~CMP6-63.7E

50Hz 同期速度3000min⁻¹ / 60Hz 同期速度3600min⁻¹

周波数 Hz	口径 mm	形 式	電動機 出力kW	吐出し量 m ³ /min	全揚程 m	吐出し量 m ³ /min	全揚程 m	吐出し量 m ³ /min	全揚程 m	電圧 V	相	質量 kg
50	40	CMP3-50.7EN	0.75	0.080	13.5	0.130	12.6	0.190	10.8	200	三	23.5
		CMP4-50.7EN	0.75	0.170	11.5	0.230	9.5	0.270	7.5	200	三	23.5
	50	CMP4-51.5E	1.5	0.170	17.8	0.230	16.0	0.300	13.5	200	三	30.5
		CMP6-51.5E	1.5	0.300	9.5	0.500	8.0	0.700	5.0	200	三	32.0
60	40	CMP6-52.2E	2.2	0.300	14.0	0.600	11.0	0.800	7.0	200	三	36.0
		80	CMP3-60.7EN	0.75	0.080	13.8	0.130	12.7	0.190	10.7	200	三
	CMP4-60.7EN		0.75	0.170	11.6	0.230	9.3	0.270	7.2	200	三	23.5
	50	CMP4-61.5E	1.5	0.170	17.6	0.230	15.7	0.300	13.2	200	三	30.5
		CMP4-62.2E	2.2	0.170	24.5	0.280	21.0	0.380	16.8	200	三	34.5
	80	CMP6-62.2E	2.2	0.300	13.5	0.600	10.0	0.750	7.0	200	三	36.0
CMP6-63.7E		3.7	0.400	18.0	0.650	15.0	1.000	7.0	200	三	46.5	

COP形

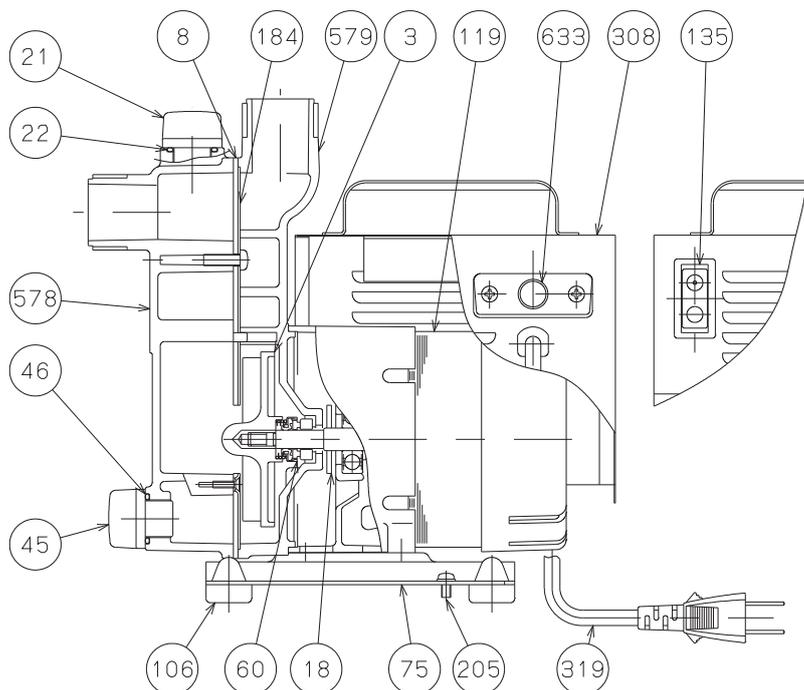
50Hz 同期速度3000min⁻¹ / 60Hz 同期速度3600min⁻¹

周波数 Hz	口径 mm	形 式	電動機 出力kW	吐出し量 m ³ /min	全揚程 m	吐出し量 m ³ /min	全揚程 m	吐出し量 m ³ /min	全揚程 m	質量 kg
50	50	COP4-51.5E	1.5	0.17	17.8	0.23	16.0	0.30	13.5	29.5
60	50	COP4-61.5E	1.5	0.17	17.6	0.23	15.7	0.30	13.2	29.5
		COP4-62.2E	2.2	0.17	24.5	0.28	21.0	0.38	16.8	29.5

注) COP形の質量には電動機は含んでいません。

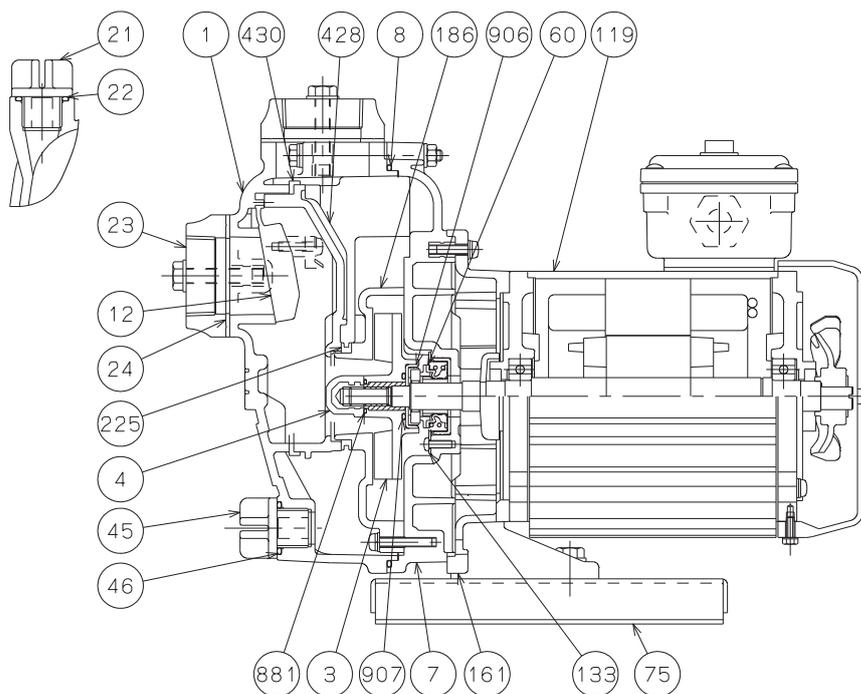
構造図及び部品名称

CMP1-50.1、CMP1-60.1



番号	品名
3	羽根車
8	ケーシングパッキン
18	水切りゴム
21	注水口止栓
22	注水口止栓パッキン
45	ドレンプラグ
46	ドレンプラグパッキン
60	メカニカルシール
75	単独ベース
106	クッションゴム
119	電動機
135	電源スイッチ
184	仕切板
205	アース端子用ビス
308	電動機カバー
319	電源コード
578	吸水胴
579	排水胴
633	サーマルプロテクター

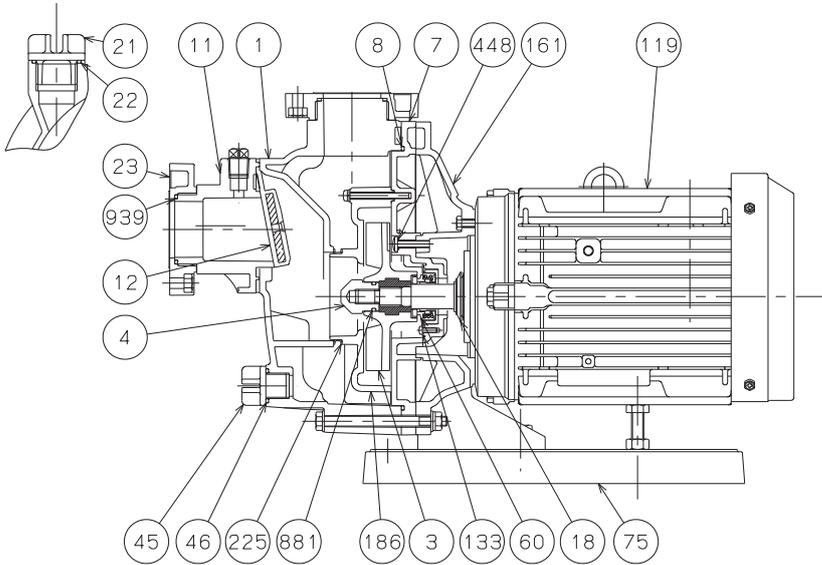
CMP1-50.2R～CMP3N-60.4TR



番号	品名
1	ケーシング
3	羽根車
4	羽根車ナット
7	ケーシングカバー
8	ケーシングパッキン
12	吸水弁
21	注水口止栓
22	注水口止栓パッキン
23	相フランジ
24	相フランジパッキン
45	ドレンプラグ
46	ドレンプラグパッキン
60	メカニカルシール
75	単独ベース
119	電動機
133	メカニカルシール押え座金
161	ブラケット
186	内部ケーシング
225	内部ケーシングパッキン
428	サクシオンポート
430	サクシオンポートパッキン
881	羽根車ナット用パッキン
906	メカニカルシールハウジング
907	メカニカルシールハウジング用パッキン

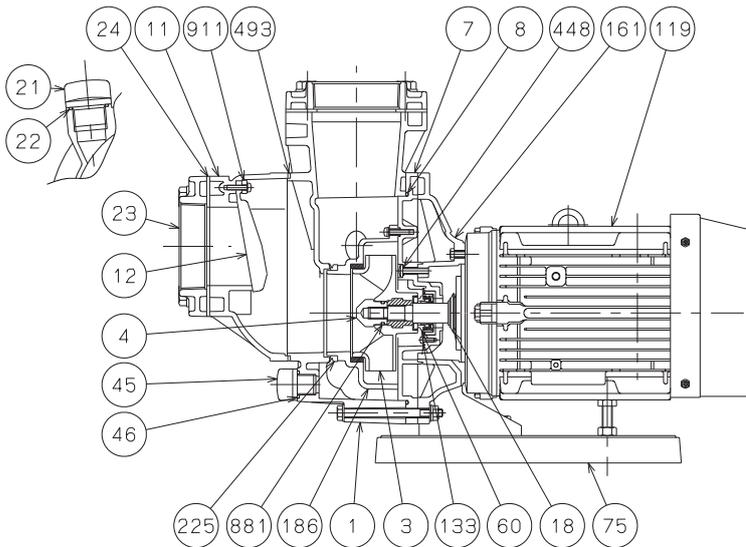
構造図及び部品名称

CMP3-50.7EN～CMP4-62.2E



番号	品名
1	ケーシング
3	羽根車
4	羽根車ナット
7	ケーシングカバー
8	ケーシングパッキン
11	吸水口
12	吸水弁
18	水切りつば
21	注水口止栓
22	注水口止栓パッキン
23	相フランジ
45	ドレンプラグ
46	ドレンプラグパッキン
60	メカニカルシール
75	単独ベース
119	電動機
133	メカニカルシール押え座金
161	ブラケット
186	内部ケーシング
225	内部ケーシングパッキン
448	ケーシングカバー取付ねじ用パッキン
881	羽根車ナット用パッキン
939	フランジ取付用パッキン

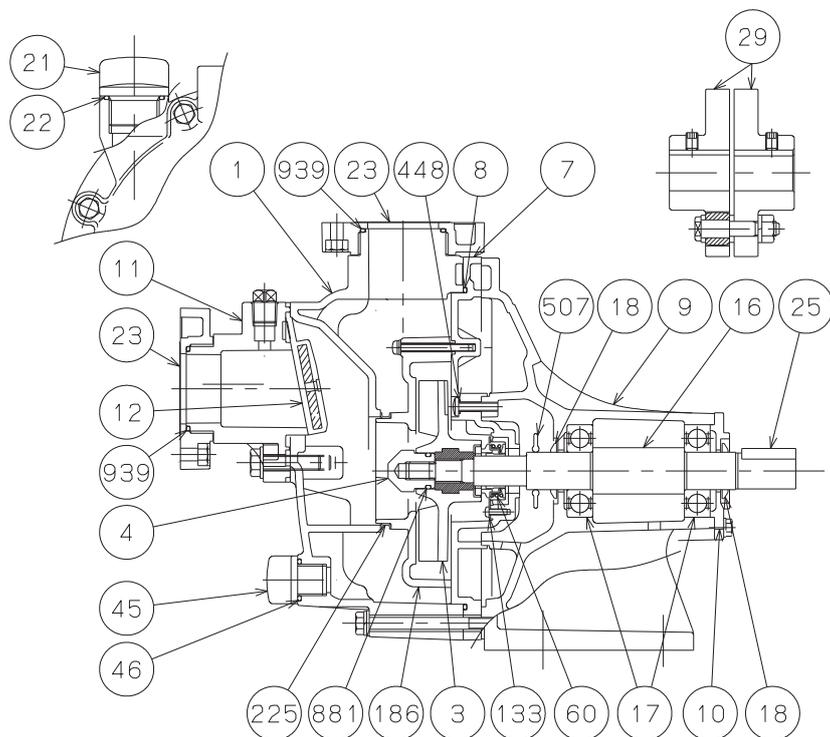
CMP6-51.5E～CMP6-63.7E



番号	品名
1	ケーシング
3	羽根車
4	羽根車ナット
7	ケーシングカバー
8	ケーシングパッキン
11	吸水口
12	吸水弁
18	水切りつば
21	注水口止栓
22	注水口止栓パッキン
23	相フランジ
24	相フランジパッキン
45	ドレンプラグ
46	ドレンプラグパッキン
60	メカニカルシール
75	単独ベース
119	電動機
133	メカニカルシール押え座金
161	ブラケット
186	内部ケーシング
225	内部ケーシングパッキン
448	ケーシングカバー取付ねじ用パッキン
493	吸水口パッキン
881	羽根車ナット用パッキン
911	吸水弁押え

構造図及び部品名称

COP4-51.5E～COP4-62.2E



番号	品名
1	ケーシング
3	羽根車
4	羽根車ナット
7	ケーシングカバー
8	ケーシングパッキン
9	軸受ケース
10	軸受蓋
11	吸水口
12	吸水弁
16	シャフト
17	ボールベアリング
18	水切りつば
21	注水口止栓
22	注水口止栓パッキン
23	相フランジ
25	カップリングキー
29	カップリング一式
45	ドレンプラグ
46	ドレンプラグパッキン
60	メカニカルシール
133	メカニカルシール押え座金
186	内部ケーシング
225	内部ケーシングパッキン
448	ケーシングカバー取付ねじ用パッキン
507	フリンジャ
881	羽根車ナット用パッキン
939	フランジ取付用パッキン

営業所一覧

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

- 東京支社 〒120-0043 東京都足立区千住宮元町13-13 千住MKビル9F
TEL 03-6625-8558(代) FAX 03-6625-8557
- 神奈川営業所 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢2125-1-101
TEL 042-774-3670(代) FAX 042-774-3671
- 北関東営業所 〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048-523-2654(代) FAX 048-525-5216
- 仙台営業所 〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町3-33
TEL 022-287-0231(代) FAX 022-287-0235
- 名古屋営業所 〒457-0004 愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052-819-0188(代) FAX 052-819-0180
- 静岡営業所 〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町26-32 パークサイド城北1F-C
TEL 054-200-1002(代) FAX 054-200-1003
- 大阪支社 〒540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋二丁目1番30号 谷町八木ビル9F
TEL 06-6940-1177(代) FAX 06-6940-1178
- 岡山営業所 〒700-0971 岡山県岡山市北区野田三丁目9-10-2 岡崎事務所1F東
TEL 086-245-4497(代) FAX 086-245-7246
- 高松営業所 〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲836番地1カテナイトビル101号
TEL 087-888-5118(代) FAX 087-888-5119
- 福岡営業所 〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田1丁目6番15号 ウィスタリア東比恵ベースE-1
TEL 092-411-7555(代) FAX 092-411-7585
- 広島営業所 〒733-5136 広島県広島市佐伯区楽々園3丁目5番28号 楽々園Nビル 101号室
TEL 082-563-7486(代) FAX 082-563-7487
- お電話でのお問い合わせ 月～金 9:00～12:00 13:00～17:00 (土、日、祝日、大型連休を除く)

※上記一覧は、取扱説明書作成時点の情報です。最新の情報は下記に記載のURLからもご確認できます。



株式会社 寺田ポンプ製作所

〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号
TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-0013

E-mail: info@teradapump.co.jp

<https://www.teradapump.co.jp/>